

検索ボックス

<< [慢性腎臓病と糖尿病・2020年KDIGOガイドライン](#) | [TOP](#) | [新型コロナに吸入ステロイド剤は有効か？ COPDと喘息の場合](#) >>

2020年11月24日

<< **2025年11月** >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

最近の記事

- [\(11/14\)高血圧を有する高齢患者における厳格な血圧管理 :STEP試験の6年間の結果](#)
- [\(11/12\)非侵襲的な肝線維化の評価](#)
- [\(11/10\)欧州前立腺がんスクリーニング研究 - 23年追跡](#)
- [\(11/08\)乳癌術後胸壁照射後の10年生存](#)
- [\(11/05\)帯状疱疹ワクチンの効果](#)

最近のコメント

- [鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用 by \(09/13\)](#)
- [23価肺炎球菌ワクチンの局所反応 by \(07/11\)](#)
- [急性心不全のランシックスの効果減弱 by \(06/10\)](#)
- [小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について by \(05/02\)](#)
- [II型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について by \(04/19\)](#)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科\(279\)](#)
- [循環器\(345\)](#)
- [消化器・PPI\(199\)](#)
- [感染症・衛生\(339\)](#)
- [糖尿病\(171\)](#)
- [喘息・呼吸器・アレルギー\(140\)](#)
- [インフルエンザ\(124\)](#)
- [肝臓・肝炎\(68\)](#)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(59\)](#)
- [脳・神経・精神・睡眠障害\(82\)](#)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症\(48\)](#)
- [ワクチン\(103\)](#)
- [癌関係\(20\)](#)
- [脂質異常\(32\)](#)
- [甲状腺・内分泌\(22\)](#)
- [婦人科\(24\)](#)
- [泌尿器・腎臓・前立腺\(68\)](#)
- [熱中症\(7\)](#)
- [日記\(36\)](#)
- [その他\(112\)](#)

過去ログ

- [2025年11月\(8\)](#)
- [2025年10月\(12\)](#)
- [2025年09月\(15\)](#)
- [2025年08月\(13\)](#)
- [2025年07月\(14\)](#)

慢性腎臓病とRA系阻害薬

慢性腎臓病とRA系阻害薬



本院での慢性腎臓病の多くが、高血圧などの動脈硬化が糖尿病が原因です。血圧のコントロールとして、RA系阻害薬（ACE-IかARB）を主体に治療しています。腎機能の低下や高カリウム血症の進展により腎臓専門家に紹介する事がありますが、専門家よりカルシウム拮抗薬（CCB）への変更指導を受けることもあります。2013年のガイドライン以降は注意しながらもRA系阻害薬を投与していましたが、2018年のガイドライン以降ではむしろ推奨されなくなっています。特にステージG3bに対して、特別なガイドラインが各学会共同で出版されています。実地医家にとってはやや戸惑っていますが、その点を成書と比較しながら再考してみます。

2013年頃の文献と2018年以降の文献をまとめて下記のPDFに掲載します。また、成書では以前のものとして「極論で語る腎臓内科」、現在のものとして「腎臓 高血圧診療をスッキリまとめました」を拝借して、下記に掲載します。

結論的には

- 2013年のガイドラインに則った「極論で語る腎臓内科」によりますと慢性腎臓病と心血管疾患は、相互に関係しあって増悪因子に成り得ます。RA系阻害薬は血圧降下と蛋白尿の軽減につながります。RA系阻害薬の服用による蛋白尿減少でCKDの進行を抑制したいのは、実際にG3からG4で血清クレアチニンの上昇が30%未満ならそのまま継続してよいが、30%以上の時は減量あるいは中止を勧告しています。しかしRA系阻害薬の投与はハイリスク・ハイリターンであり、十分に監視していれば血清クレアチニンが高くても、RA系阻害薬服用にチャレンジしてみようまで記載しています。（つまり、CKDのステージG3Bでも軸足はRA系阻害薬でした。）

- 2018年のガイドラインに沿った「腎臓 高血圧診療をスッキリまとめました」によりますと、下記の2つの論文により軸足が変わりました。下記に両文献もPDFで掲載します。

- ・Serum creatinine elevation after renin-angiotensin system blockade and long term cardiorenal risks: cohort study; 雑誌BMJ
RA系阻害薬投与直後の血清クレアチニンが10~30%上昇で長期予後は悪い。
- ・The impact of stopping inhibitors of the renin-angiotensin system in patients with advanced chronic kidney disease
CKDステージG4~G5でRA系阻害薬から他剤に変更で腎機能が改善
結論としては、RA系阻害薬は尿蛋白のあるCKDに推奨されるが、進行したCKD（ステージG4、5）や75歳以上の高齢者では急激な腎機能低下や高カリウム血症が懸念されるため、副作用に細心の注意が必要（つまり、CKDのステージG3BでのRA系阻害薬投与は中止です。）

- uptodateより調べました。腎機能低下に際しての記載は一般論として記載されており、基本的には注意深くRA系阻害薬を使用することを勧めています。しかし、あくまでも第一選択薬はRA系阻害薬との事です。

- 今日の臨床サポートより調べました。明白に腎機能低下、つまりeGFR30以下はRA系阻害薬を中止するように勧告しています。特に高齢者には注意が必要なようです。

[2025年06月](#)(13)
[2025年05月](#)(15)
[2025年04月](#)(17)
[2025年03月](#)(13)
[2025年02月](#)(14)
[2025年01月](#)(16)
[2024年12月](#)(14)
[2024年11月](#)(12)
[2024年10月](#)(13)
[2024年09月](#)(14)
[2024年08月](#)(12)
[2024年07月](#)(15)
[2024年06月](#)(14)
[2024年05月](#)(14)
[2024年04月](#)(12)
[2024年03月](#)(14)
[2024年02月](#)(13)
[2024年01月](#)(19)
[2023年12月](#)(17)
[2023年11月](#)(13)
[2023年10月](#)(15)
[2023年09月](#)(12)
[2023年08月](#)(16)
[2023年07月](#)(15)
[2023年06月](#)(14)
[2023年05月](#)(15)
[2023年04月](#)(15)
[2023年03月](#)(15)
[2023年02月](#)(14)
[2023年01月](#)(15)
[2022年12月](#)(12)
[2022年11月](#)(16)
[2022年10月](#)(15)
[2022年09月](#)(13)
[2022年08月](#)(17)
[2022年07月](#)(13)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

私見)

実地医家の場合に、推奨に軸足があればアクセルを踏むことです。
警告に軸足があればブレーキを踏むことです。eGFRが30以下とは言わず45以下のステージG3bでブレーキをかけて、RA系阻害薬を中止して参ります。
しかし「腎臓病診療に自信がつく本」の一部の記載に、糖尿病腎症ではありますがRA系阻害薬の有効
例が記載されています。
また時代が変わりその時が来るまで頭の片隅にしまっておきます。

尚、地域でのオピニオンリーダーの寺脇博之教授の冊子がありましたので同時に掲載します。

◆ 参考文献

- ・極論で語る腎臓内科 丸善出版
- ・腎臓 高血圧診療をスッキリまとめました 南江堂
- ・腎臓病診療に自信がつく本 カイ書林
- ・medical practice V37 N11 2020
- ・日本医師会雑誌 V143 N11 2015

[1 CKD 文献纏め.pdf](#)

[2 bmj_Serum_creatinine_elevation_after_renin-angiotensin_system_blockade_and_long_term_cardiorenal_risks_cohort_study.pdf](#)

[3 nephrol_dial.pdf](#)

[4 ckd3b-5-2017 ガイドライン.pdf](#)

[5 エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン 2018.pdf](#)

[6 極論で語る腎臓内科.pdf](#)

[7 腎臓 高血圧診療をスッキリまとめました.pdf](#)

[8 腎臓病診療に自信がつく本.pdf](#)

[9 Uptodateより・CKDの降圧薬.pdf](#)

[10 今日の臨床サポート・CKD.pdf](#)

[11 市原医師会.pdf](#)

[12 慢性腎臓病の自己管理.pdf](#)

[13 腎臓の働きを少しでも長持ちさせるには？.pdf](#)

0

0

いいね!

ポスト

ブックマーク

【泌尿器・腎臓・前立腺の最新記事】

[欧州前立腺がんスクリーニング研究 - 2..](#)
[造影剤による急性腎障害 \(AKI\) ・upt..](#)
[血清カルシウム値の補正は必要ないかも？](#)
[低ナトリウム血症・補足説明 治療編](#)
[低ナトリウム血症・補足説明 診断編](#)

posted by 斎賀一 at 21:58 | [Comment\(0\)](#) | [泌尿器・腎臓・前立腺](#)

この記事へのコメント